

第4学年 社会科 学習指導案

日 時 平成18年9月13日(水) 第5校時

場 所 一関市立大原小学校

授業者 瀬川 幸恵

児童数 男子15名 女子18名 計33名

1 単元名 「昔のくらしとまちづくり」 ~1 昔のくらし~(小学社会 3・4下 教育出版 66ページ~)

2 単元について

(1) 教材について

本単元は、学習指導要領の第3学年及び第4学年の目標(5)「地域の人々の生活について、次のことを見学、調査したり年表にまとめたりして調べ、人々の生活の変化や人々の願い、地域の人々の生活向上に尽くした先人の働きや苦心を考えるようにする。」に基づいて設定されたものである。「次のこと」というのは、「古くから残る暮らしに関わる道具、それらを使っていた頃の暮らしの様子」のことである。

古くから残る暮らしに関わる道具と、それらを使っていた頃の暮らしの様子を調べることを通して、過去の生活における人々の知恵や工夫について気づかせたり、地域の人々の生活の変化や願いを考えさせたりする。また、自分たちの身近なところにある昔の道具を見学や体験を通して調べ、発表しあいながら昔の暮らしを考えていくことは、地域社会に対する誇りと愛情を育むことにつながるものといえる。

(2) 児童について

本学級の児童は、調べ学習への興味・関心が高く、グループで協力して調べたり、分かったことをまとめて発表したりすることができる。1学期に学習した「火事をふせぐ」では、学校内を巡り、学校にはたくさんの消防施設があること気づき見取り図にまとめることができた。しかし、調べたことから消防施設がなぜその場所に設置されたのか、理由を考えることは難しかった。このことから、調べて分かったことをもとに、自分なりの考えや意見を持つことのできる児童はまだ少ないと考える。

本単元では、昔の道具が現在に至るまでどのように変化していったのか、また道具の変化とともに人々の暮らしの様子はどのようになっていったのかを学んでいく。自分の生活と関わりのある道具の昔の姿を見せたり体験させたりすることで、児童の興味を喚起し、道具と関わる人々の生活の様子や願いについて自分の意見や考えを持たせたい。

(3) 指導について

昔の人々の暮らしの様子をつかむにあたって、お年寄りから話を聞いたり、本や資料で調べたり、郷土資料館を見学したりするなど、多様な体験活動を取り入れたい。そして、観察や見学・調査・体験などの活動を通して、わかったことや考えたことなどを交流し合う中で、道具の進化の裏側には、当時の人々の思いや願いがあり、それが生活変化への原動力となっていることをとらえさせたい。

そこで、指導にあたっては、時代の変化や人々の知恵について一人一人が深く考えるための発問を心がけていく。

3 単元の目標

地域の人々の生活について、古くから伝わる暮らしに関わる道具、それらを使っていた頃の暮らしの様子について調べ、人々の生活の変化や人々の願いについて考えるようにする。

4 単元指導計画

(1) 単元の評価規準

【社会的事象への関心・意欲・態度】	まちの昔の様子に関心を持ち、意欲的に調べることを通して、地域に対する誇りと愛情をもとうとする。
【社会的な思考・判断】	昔の道具から問題を見つけ、追究・解決し、生活の変化や人々の願いを考える。
【観察・資料活用の技能・表現】	昔の道具を観察・調査して調べ、工夫しながら地図や年表にまとめて表現する。
【社会的事象についての知識・理解】	地域の人々の生活の変化がわかるとともに、その根底には暮らしの向上への願いがあったことを理解することができる。

(2) 単元の指導と評価の計画 (総数8時間)

学習事項	学習内容	社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断	観察・資料活用の技能・表現	社会的事象についての知識・理解
1 オリエンテーション (1時間)	・ 地域の昔の写真や昔の道具などをもとに、昔の人たちがどのような暮らしをしていたのか話し合う。 ・ 詳しく調べてみたい道具を決める。	昔の暮らしや道具について調べたいことを探すことができる。			
2 昔の道具を体験しよう (1時間)	・ 昔の道具を実際に使ってみて、感想を絵カードに書き表す。	昔の道具に関心を持ち、使ってみたり、調べてみたいしようとしている。		体験したことを学習シートに表すことができる。	
3 きょうどしりょう館をたずねて (1時間)	・ 地域にある郷土資料館に展示されている昔の道具を見学する。 ・ 道具が使われていた時期を分けてとらえ、絵カードにまとめる。	見学を意欲的に行うことができる。		道具を学習シートにかき表し、使われていた時期を記入することができる。	
4 くらいはどう変わっただろう (2時間)	・ 道具の移り変わりを調べ、絵年表にする。 ・ 古い道具が使われていた頃の暮らしの様子を家の人やお年寄りにたずねて調べる。			時間の経緯に沿って、道具の移り変わりの様子を整理することができた。	日常生活と密着した道具の変遷から、人々の生活の変化が読みとれることがわかる。
5 絵年表をつくる (本時・1時間)	・ グループごとにまとめた絵年表を見て、道具の移り変わりや人々の暮らしや願いについて気づいたことや考えたことを話し合う。		道具の移り変わりから人々の生活の変化や暮らしをよくしたいという願いについて考えることができる。		絵年表を見て、時代とともに歩み道具が改良され、ていったことがわかる。
6 まちに残る昔を調べよう (2時間)	・ まちに残る建物や記念碑、行事などを調べ、昔の人たちは、地域の暮らしを高めるためにどのようなことを願っていたのか問いをもつ。	昔を伝えるものを意欲的に探し、進んで記録しようとしている。		記録を整理してパネルをつくることができた。	

5 本時の指導

(1) 本時の目標

道具の移り変わりから昔の人々の生活の変化がわかるとともに、その根底には暮らしの向上への願いがあったことを理解することができる。

(2) 展開

	学習活内容	発問と期待する児童像 発問 反応・	指導上の留意点 [資料]
導入	<p>1 課題をつかむ</p> <p>(1) 前時でまとめた道具の移り変わりをグループごとに発表する。</p> <p>(2) 道具の変化の様について確認する。</p> <p>(3) 課題を確認する</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 道具のうつりかわりから、人々のくらしがどのように変わったか考えよう。 </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 道具はどこが、どのように変わっていききましたか？ </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 手動から自動へ変わってきた。 ・ 簡単になった。 ・ かかる時間が短くなった。 ・ 形が変わった。 	道具の変遷について、短時間に発表させる。 道具の変わり方については「どこが」「どのように」という二つの視点で確認する。 [資料] 各グループでまとめた道具の移り変わりの絵年表
展開	<p>2 課題を追求する</p> <p>(1) 道具をもとに、それぞれの時代のくらしの様子や時代の背景について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ おじいさん・おばあさんが子どものころは ・ お父さん・お母さんが子どものころは ・ 今は(ぼくたち・わたしたち) <p>(2) 道具が変化してきたわけについて人々の思いや願いを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ノートに書かせる。 <p>(3) 発表する</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> それぞれの時代のくらしを道具とともにまとめてみましょう。 </div> <p>【おじいさん・おばあさんが子どものころは】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 洗たくは手洗いで大変、かまどに火をつけないとご飯が食べられない。 ・ 時代は戦争の中 <p>【お父さん・お母さんが子どものころは】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 電気の道具がでてきた。作業の時間が短くなってきた。 ・ 時代は電気製品が広まってきた。 <p>【今は(ぼくたち・わたしたち)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 時間が短くなった。全自動になった。簡単になった、仕事が楽になった ・ コンピューターがやってくれる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 道具が変化したのは、人々のどんな思いが合ったからでしょうか？ </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 毎日火をおこすのは大変だ。 ・ 冬の洗濯は手が痛くて大変だ。 ・ もっと簡単に、短時間でできないか。 	当時の人々の思いに共感させるために、体験したことの感想も発表させる。 当時としては便利だったことをおさえるために、前の時代と比べさせる。 [資料] 当時の仕事の様子が分かるような写真や絵。 「当時は便利」だったものがなぜ変わったのかという発問も用意し、「さらに」「よりよく」したいという人々の願いについて考えさせる。
終末	<p>3 まとめる</p> <p>(1) 課題をまとめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px; background-color: #ffffcc;"> それぞれの時代に使われた道具は、くらしを「よりよく」したいという人々の願いとともに便利になり、より生活しやすく「変化」していった。 </div> <p>(2) くらしを高めようとする願いは現在も続いていることを理解する。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 今日の学習をふりかえって、まとめをしましょう。 </div>	道具の移り変わりから人々の生活が変わっていったことを黒板の絵年表を確認する。そして、それは暮らしをよりよくしたいという当時の人々の願いからおこったことであるということ穴埋め形式でまとめる。

十分満足できる(A)	おおむね満足できる(B)	努力を要する児童への支援
道具の移り変わりから当時の人々の暮らしの様子について考えるとともに、生活の変化や暮らしをよくしたいという願いについて考えることができる。	道具の移り変わりから人々の生活や変化や暮らしをよくしたいという願いについて考えることができる。	絵年表を見たり、調べたりしたことをもとに道具が変わると仕事の様子が楽になったことに気づかせる。その中で、道具はなぜ進化していったのか一緒に考える。

(4) 板書計画










9 / 13 P 74

絵年表をつくろう

道具のうつりかわりから、人々のくらしがどのように変わったか考えよう。

- ・ 毎日火をおこすのは大変だ。
- ・ 冬の洗濯は手が痛くて大変だ。
- ・ もっと簡単に、短時間でできないか。

それぞれの時代に使われた道具は、生活をよりよくしたいという人々の願いとともに便利になり、くらしの様子も変わっていった。

おじいさん おばあさんの時代	お父さん お母さんの時代	今 ぼくたち わたしたちの時代	未来
			
			
			

仕事の様子の写真か絵

何をするのも時間がかかった。

仕事の様子の写真か絵

電気製品がふえてきた

仕事の様子の写真か絵

自動でできるようになった